

# 防災カルテ様式C（落石・崩壊）

施設管理番号	N 0 0 0 A 0 0 1	点検対象項目	落石・崩壊	路線名	一般国道〇〇号	距離標(自)	1	2	3	5	0 0	(至)	1	2	3	6	2 0	上下線の別	他	延長	120.0 m
点検年月日	2007年 11月 22日	2008年 4月 11日	2008年 11月 20日	2009年 4月 22日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
⑤ 湧水	滴下	滴下	多少有	滴下																	
前回との差異	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
被災履歴	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
補修履歴	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
⑥ 落石防止柵	—	—	新たな落石多少有	—																	
前回との差異	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
被災履歴	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
補修履歴	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
⑦ 落石発生源の状況	—	—	—	—																	
前回との差異	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
被災履歴	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
補修履歴	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
⑧ 落石発生源の状況	—	—	—	—																	
前回との差異	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
被災履歴	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
補修履歴	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
点検時の特記事項 (点検時の対応)	天気：( 晴 ) なし	天気：( 曇 ) なし	天気：( 晴 ) ・数日前の雨で新たな落石がみられ、落石防止柵に堆積。 ・②の亀裂が拡大。 ・②を計測した結果、拡大していたので専門技術者へ連絡。	天気：( 曇 ) ・その後の伸展がみられない。	天気：( )	天気：( )	天気：( )	天気：( )	天気：( )	天気：( )	天気：( )	天気：( )	天気：( )	天気：( )	天気：( )	天気：( )	天気：( )	天気：( )	天気：( )	天気：( )	天気：( )
点検者名	防災 次郎	防災 次郎	防災 次郎	防災 次郎																	
点検後の対応 (専門技術者の判定)			・崩壊に結びつく変状ではないので詳細調査は必要なし。 ・点検の継続実施。																		
専門技術者による点検年月日	年 月 日	年 月 日	2008年 11月 21日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
専門技術者名			防災 太郎																		
次回点検実施時期	2008年度 4月	2008年度 11月	2009年度 4月	2009年度 11月	年度 月	年度 月	年度 月	年度 月	年度 月	年度 月	年度 月	年度 月	年度 月	年度 月	年度 月	年度 月	年度 月	年度 月	年度 月	年度 月	年度 月

# 防災カルテ様式D (落石・崩壊)

施設管理番号	N 0 0 0 A 0 0 1	災害種別	落石・崩壊	路線名	一般国道〇〇号	距離標(自)	1 2 3 5	6 0 (至)	1 2 3 5	7 0	上下線の別	上																																																																																																																			
点検対象箇所	非該当	事業区分	一般	道路種別	一般国道(指定区間外)	現道・旧道路区分	現道	所在地	〇〇 郡 〇〇 町 字**	北緯	34 度 0 分 0.0 秒	東経	132 度 0 分 0.0 秒	測地系	世界測地系																																																																																																																
平面図(被災・対策) <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center; margin: 20px;"> <h2>被災箇所 平面図挿入</h2> </div>						断面図(被災・対策)																																																																																																																									
現況写真・スケッチ(被災・対策)						特記事項 <table border="1"> <tr> <td>発生年月日</td> <td colspan="12">2006 年 10 月 1 日</td> </tr> <tr> <td>規模</td> <td>幅、長さ、深さ(m)</td> <td>0.0 m、</td> <td>0.0 m、</td> <td>0.0 m</td> <td colspan="8">                     コメント: 斜面上部の玄武岩質溶岩の急崖より、1.2×0.9×0.8mの落石が発生。現道脇の落石防止柵を突き破り、道路を横断しガードレール手前で止まった。                 </td> </tr> <tr> <td>誘因</td> <td>降雨:連続</td> <td>0 mm</td> <td>最大</td> <td>0 mm/hr</td> <td>地震:震度</td> <td>0</td> <td>加速度</td> <td>0.0 gal</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>雪崩:気温</td> <td>0.0 °C</td> <td>積雪深</td> <td>0.0 m</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>被害</td> <td>人身:死者</td> <td>0 人、</td> <td>負傷者</td> <td>0 人、</td> <td>物損:</td> <td colspan="2">被害額:</td> <td>0.0</td> <td colspan="4">百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="12">                     コメント: 落石は落石防止柵を突き破り道路上に出てきたものの、幸い通行中の車両はなく事故には至らなかった。                 </td> </tr> <tr> <td>通行止実績</td> <td>全面</td> <td>0.0 時間、</td> <td>片側</td> <td>0.0 時間、</td> <td>路肩規則</td> <td colspan="6">あり</td> </tr> <tr> <td>対策工</td> <td>施工年度:</td> <td colspan="2">年</td> <td>対策工種:</td> <td colspan="4"></td> <td>概算工費:</td> <td colspan="3">0.0 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="12">                     コメント:                 </td> </tr> </table>							発生年月日	2006 年 10 月 1 日												規模	幅、長さ、深さ(m)	0.0 m、	0.0 m、	0.0 m	コメント: 斜面上部の玄武岩質溶岩の急崖より、1.2×0.9×0.8mの落石が発生。現道脇の落石防止柵を突き破り、道路を横断しガードレール手前で止まった。								誘因	降雨:連続	0 mm	最大	0 mm/hr	地震:震度	0	加速度	0.0 gal						雪崩:気温	0.0 °C	積雪深	0.0 m								被害	人身:死者	0 人、	負傷者	0 人、	物損:	被害額:		0.0	百万円					コメント: 落石は落石防止柵を突き破り道路上に出てきたものの、幸い通行中の車両はなく事故には至らなかった。												通行止実績	全面	0.0 時間、	片側	0.0 時間、	路肩規則	あり						対策工	施工年度:	年		対策工種:					概算工費:	0.0 百万円				コメント:											
発生年月日	2006 年 10 月 1 日																																																																																																																														
規模	幅、長さ、深さ(m)	0.0 m、	0.0 m、	0.0 m	コメント: 斜面上部の玄武岩質溶岩の急崖より、1.2×0.9×0.8mの落石が発生。現道脇の落石防止柵を突き破り、道路を横断しガードレール手前で止まった。																																																																																																																										
誘因	降雨:連続	0 mm	最大	0 mm/hr	地震:震度	0	加速度	0.0 gal																																																																																																																							
	雪崩:気温	0.0 °C	積雪深	0.0 m																																																																																																																											
被害	人身:死者	0 人、	負傷者	0 人、	物損:	被害額:		0.0	百万円																																																																																																																						
	コメント: 落石は落石防止柵を突き破り道路上に出てきたものの、幸い通行中の車両はなく事故には至らなかった。																																																																																																																														
通行止実績	全面	0.0 時間、	片側	0.0 時間、	路肩規則	あり																																																																																																																									
対策工	施工年度:	年		対策工種:					概算工費:	0.0 百万円																																																																																																																					
	コメント:																																																																																																																														
作成年月日	2006 年 10 月 2 日		天気:	( 晴 )																																																																																																																											

# 現 状 記 録 写 真 ( 落 石 ・ 崩 壊 )

管 理 機 関 名	〇〇土木事務所
管 理 機 関 コ ー ド	0 0 0 0 0 0 0

施設管理番号	N 0 0 0 A 0 0 1	点検対象項目	落石・崩壊	路線名	一般国道〇〇号	距離標(自)	1 2 3 5	0 0 (至)	1 2 3 6	2 0	上下線の別	他	延長	120.0 m		
事業区分	一般	道路種別	一般国道(指定区間外)	現道・旧道路区分	現道	所在地	〇〇 郡 〇〇 町 字 **	位置目印	両側に矢印を赤ペンキでマーキング		北緯	34 度 0 分 0.0 秒	東経	132 度 0 分 0.0 秒	測地系	世界測地系



作 成 年 月 日    2007 年 10 月 15 日    天 候 : ( 晴 )

## 防災カルテ記載要領

防災カルテは、以下の様式で構成される。

防災カルテ様式A：点検対象の全景と点検方法等を記録するもの。

防災カルテ様式B：点検対象の中でも着目すべき変状について詳細を記録するもの。

防災カルテ様式C：点検結果、被災履歴、補修履歴等を記録するもの。

防災カルテ様式D：詳細な被災履歴、補修履歴等を記録するもの。

現状記録写真：様式A～Dに入りきらなかった写真等を記録するもの。

防災カルテ**様式A～Cは必ず作成**する。様式Dは、防災カルテを用いた点検時に、被災や補修を確認した場合に適宜作成する。また、現状記録写真については、各様式で収まりきらなかった現状写真等を記録するものである。

一つの点検対象箇所において、**着目すべき変状箇所が複数ある場合には、変状箇所ごとに防災カルテ様式Bを作成する。**また、被災箇所や補修箇所が複数ある場合には、当該箇所ごとに防災カルテ様式Dを作成する。

防災カルテの記載内容については、様式別に整理したので次頁以降を参照されたい。

項目		記載内容
様式 A	基本管理項目	<p>「地整・都道府県名等」、「管理機関名」、「管理機関コード」、「施設管理番号」、「橋梁名*」、「橋長*」、「点検対象項目」、「路線名」、「距離標」、「点検箇所の上線別」、「延長」、「事業区分」、「道路種別」、「現道・旧道区分」、「所在地」、「位置目印」、「河川名（河川管理者）*」、「点検位置（北緯、東経）」、「事前通行規制区間指定」、「規制基準」、「交通量」、「D I D区間」、「バス路線」、「迂回路」、「緊急輸送道路区分」</p> <p>注）*印は橋梁基礎の洗掘の点検対象項目のみ記載。</p>
	点検地点位置図	<p>縮尺 1/100～1/500 程度で平面図（正面図）、横断面図を作成し、以下の項目を記載する。スケッチ図作成に当たっては、巻末資料の「防災カルテ様式 A、B 使用記号例」を参考にする。</p> <p>①着目すべき変状箇所（変状 No.）</p> <p>②調査対象区間、形状寸法、勾配、高さ等</p> <p>③既設の対策工が施されている場合、工種、諸元等</p> <p>④距離標または目印の位置</p> <p>⑤必要に応じて地形地質概要（図示）およびコメント</p> <p>⑥その他、必要事項</p>
	専門技術者による点検の有無	<p>専門技術者による点検の有無を記載する。</p> <p>また、専門技術者による点検が必要な場合は、専門技術者が行う点検において着目すべき変状および点検内容の要点を記載する。</p>
	専門技術者のコメント	<p>防災カルテを用いた点検において、特に留意すべき事項や評価および対応を具体的に記載する。</p> <p>防災管理上留意すべき事項を記載する。</p>
	着目すべき変状	<p>防災カルテを用いた点検において災害に至る可能性のある変状の着目点、およびその点検方法を具体的に記載する。</p>

項目		記載内容								
様式 A	点検の時期	変状の進行状況、災害に至る内的要因・外的要因等を考慮して、日常点検等において的確に災害の前兆を把握するため、必要な点検の時期や頻度を記載する。								
	想定される災害形態	<p>変状の進行状況、災害に至る内的要因・外的要因等を考慮して、日常点検等において的確に災害の前兆を把握するため、必要な点検の時期や頻度を記載する。また、想定される災害が発生した場合の位置、規模、形態を具体的に記載する。</p> <p>道路通行機能への影響が想定できるものについては、以下の表を参考に通行機能に対する被災ランクを記載する。</p> <p style="text-align: center;">道路に対しての被災ランク</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>被災ランク</th> <th>道路に対しての災害形態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>交通が遮断され、復旧に長時間を要する</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>交通が短時間遮断される</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>道路に対しては被災なし、または早急に復旧が可能</td> </tr> </tbody> </table>	被災ランク	道路に対しての災害形態	1	交通が遮断され、復旧に長時間を要する	2	交通が短時間遮断される	3	道路に対しては被災なし、または早急に復旧が可能
	被災ランク	道路に対しての災害形態								
	1	交通が遮断され、復旧に長時間を要する								
2	交通が短時間遮断される									
3	道路に対しては被災なし、または早急に復旧が可能									
変状が出たときの対応	変状の進行や前兆現象等が認められた場合、その進行の程度に応じて道路管理者等が行う「変状が出たときの対応」として応急処置、詳細な調査や計測、対策工の実施、通行止め等の必要性を具体的に記載する。									
専門技術者等	点検を行った点検者・専門技術者の氏名、会社名、電話番号を記載する。									
様式 B	詳細スケッチ	<p>様式 A を拡大したもので、着目すべき変状を詳細に記載する。</p> <p>①着目すべき変状箇所の詳細図</p> <p>②防災カルテ様式 A に記載しきれない詳細な情報</p>								
	着目すべき点	<p>様式 A で記載しきれない詳細なコメント等を記載する。</p> <p>ひとつの点検対象箇所に複数の着目すべき変状箇所がある場合には、必要に応じて変状箇所ごとに防災カルテ様式 B を作成する。</p> <p>また、着目すべき変状箇所を効果的に点検するために、必要に応じて着目すべき変状箇所チェックリストの作成を行う。</p>								
	チェック項目	各々の着目すべき点に対する具体的な点検方法について記載する。								